



群馬県がん患者団体連絡協議会 総会・交流茶話会を実施しました【報告】

平成27年6月20日（土）11：30～13：00、群馬会館 1階広間において、がん連協の総会を実施しました。

今年度は情報交換ができるようにと、お昼の時間も含めて集合していただきました。

大島会長のあいさつの後、顧問として参加された群馬大学保健学科の二渡先生、群馬がんアカデミーの小出理事長からごあいさつをいただき、議題に沿って審議しました。

「役員の改選について」・・・（敬称略）会長 大島主好（群馬あかぎ互療会）、副会長 北爪保枝（ひまわりの会）、土屋徳昭（群馬ホスピスケア研究会）、岡庭和子（生菜の会）、運営委員 狩野太郎（群馬がん看護研究会）、監事 佐藤宮子（1. 2の3で温泉に入る会ぐんま）、田角洋子（あけぼの群馬）の皆さんに引き続きお願いすることになりました。

「平成26年度の活動報告及び収支決算並びに監査報告について」は原案通り承認されました。

「平成27年度の活動計画及び予算について」も原案通り承認されました。今年度は新たに母の日共同キャンペーンが活動に加わりました。

その他として、狩野運営委員から重粒子線治療早期再開へ向けて、大島会長名で厚労相に嘆願書を提出する旨の提案があり、承認されました。

その後、それぞれに各会の近況報告や情報交換を活発に行い、午後で開催された市民講座、交流茶話会へと進みました。



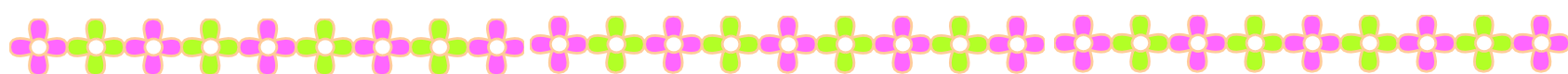
大島会長のあいさつ

当日は12団体の代表の方々にご出席いただきました。

交流茶話会は、同日、15：45～16：30 群馬会館1階広間で行われました。

特別講演の講師である、医療法人どちペインクリニック 玉穂ふれあい診療所 統括看護師長 長田牧江先生も参加し、お茶を飲みながら各テーブルごとに会話が弾みました。

最後に、玉穂ふれあい診療所の方がギターを演奏してくださり、伴奏に合わせて全員で「ふるさと」を合唱しました。



【がん征圧月間行事】 大島会長 群馬ダイヤモンドペガサス協賛試合の始球式に！

8月16日、高崎市城南球場において、群馬ダイヤモンドペガサス（BCリーグ）の試合が行われました。（協賛：群馬県健康づくり財団）

がん征圧月間の周知と、リレー・フォー・ライフのPRを兼ねて、リレー・フォー・ライフ実行委員長であり、当協議会の大島会長が始球式に参加しました。
今年も華麗なるフォームです！！



当協議会 本田顧問が 2015年度 日本対がん協会賞（個人の部）を受賞しました

公益財団法人日本対がん協会が、がん征圧活動に功績のあった方々にお贈りしている「朝日がん大賞」と「日本対がん協会賞（個人、団体）」の今年度の受賞者が9月1日付で決まりました。当協議会初代会長であり、あけぼの群馬の代表でもある本田攝子さんが、日本対がん協会賞（個人の部）を受賞し、9月4日に前橋市で開催された「がん征圧全国大会」で表彰されました。

平成19年3月に当協議会が発足した折に、初代会長に就任し、がん連協の顔として、積極的に活動をPRし、県や医療機関が主催する各種協議会などに患者会代表として参加され、体験発表や意見発表、マスコミ対応などを行っていただきました。

これらの功績により、個人の部受賞が決定しました。

本田顧問、おめでとうございます。



9月3日（木）、全国各地の日本対がん協会関係者等が集まり、行われた歓迎レセプションにて受賞者の紹介がありました。



【日本対がん協会賞 個人の部】

◇本田 攝子（ほんだ・せつこ） 群馬県がん患者団体連絡協議会顧問

1995年に乳がんになったことをきっかけに自らの体験を生かし、96年に全国的な乳がん患者会「あけぼの会」群馬支部を設立し、支部長に就任。以後19年にわたり、患者支援活動や乳がん早期発見・早期治療の重要性をアピールするキャンペーンを続け、各患者会の連携を図る行事なども定着させ、群馬県がん患者団体連絡協議会の初代会長を務めるなど、群馬県のがん患者支援に大きく貢献した。

2015年度 がん征圧全国大会（群馬県大会）が前橋市で 開催されました（2015. 9. 3～9. 4）

◇日本対がん協会は、毎年9月を「がん征圧月間」と定め、この期間、全国各地でがん予防・がん検診の呼びかけや啓発のための行事が行われています。その中心行事である「がん征圧全国大会」は各地で活動している人たちが年に1度、一堂に会して「がん征圧」への決意を新たにできる機会でもあります。この全国大会を通して、がん検診の重要性を訴え、全国の組織が一体となり、受診率50%を目指し、取り組みを強化していくことを目的としています。

今年度は第48回大会で、群馬県での開催は初めてとなりました。開催が決まってから準備を重ね、全国各地の関係者と情報交換を行い、県内の多くの方にご参加いただき、がん検診の大切さを再確認いただくことができました。

【9月3日 関連行事】

「ホテルラシーネ新前橋」において、日本対がん協会 本部、支部職員を対象とした支部長会議が行われ、記念シンポジウムとして「より精度の高い検診を目指して～子宮頸がん・胃がん～」というテーマで講演・パネルディスカッションが行われました。

シンポジストとして、高崎市保健所の木村健康増進課長補佐が参加され、高崎市の取り組みを発表していただきました。

現在、関心を集めている話題であり、会場は席が足りず、急遽イスを用意するほどの盛況となりました。議論は尽きず、当初の予定より時間がだいぶ過ぎていました。

夜は、歓迎レセプションが行われ、全国の関係者が集まり、群馬県の食材をふんだんに使った料理を囲み、検診やがん対策について情報交換しました。



シンポジウムの様子。活発な議論が交わされました。

【9月4日 全国大会】

前橋市民文化会館において、全国大会が開催されました。前夜の雨も上がり、開会前にはたくさんの来場者の方々に満員になりました。

群馬県健康づくり財団理事長、日本対がん協会長のあいさつ、来賓（厚生労働省大臣、日本医師会長、群馬県知事、前橋市長の祝辞の後、日本対がん協会賞などの表彰が行われ、本田顧問が表彰状を授与されました。



歌手であり、日本対がん協会ほほえみ大使でもあるアグネス・チャンさんが記念講演を行いました。

ご自身の体験をふまえて、早期発見・早期治療の大切さを伝えてくださいました。笑顔が素敵で、まわりにいた私たちも、明るく元気になれるようでした。

続いて群馬県アピールでは、当協議会役員であり、リレー・フォー・ライフ大島実行委員長、岡庭副実行委員長、狩野副実行委員長と群馬大学、群馬県立県民健康科学大学、群馬医療福祉大学の学生が登壇し、取り組みを発表していただきました。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんま 開催しました



平成27年10月17日（土）午後12時から、翌18日午後12時まで、24時間にわたり、群馬県総合スポーツセンター ふれあいグラウンドにおいて、リレー・フォーライフジャパン 2015ぐんまが開催されました。

前日（16日）の準備から雨が降り、係員は傘を持ち、雨合羽を身につけ集合・・・これから天気はどうなるのだろう？大会は無事に開始できるのだろうか？心配が押し寄せる中、スタッフは準備を進めました。

17日、イベント当日となりましたが、朝から雨模様でした。荒天ではないため開催は決定しましたが、正午の開始までにせめて曇りになってくれたら・・・場内を走り回りながら黙々と準備を続け、誰もが雨が上がることを祈っていました。

すると、なんと、驚いたことに開会が近づくにつれ、陽が差し始めました。暑さを感じるほどです。後ほど、狩野先生から「雨雲を吹き飛ばしたサバイバー達の希望」という名言をいただきましたが、まさにそのとおりでした。

がん連協からのチーム参加は、あけぼの群馬、伊勢崎ひまわりの会、1. 2の3で温泉に入る会ぐんま、笑みの会、（公社）日本オストミー協会群馬県支部群馬あかぎ互療会、ひまわりの会、生菜の会、みゅら☆りっぷの皆さんが参加されました。その他の会の方も個人参加やルミナリエ、募金に協力いただき、会場に足を運ばれ、多く集まっていただきました。

参加チームは全部で69チーム（うち、24時間完歩42チーム）、参加者数（2日間延べ人数）6,850人、参加サバイバー数152人です。

ステージ、キッズコーナー、啓発・健康チェックコーナー、相談コーナー、リフレッシュコーナー、野菜の販売、とんとん汁の無料配布、フードコーナーなど各所でいろいろな催しが行われました。



大島実行委員長のあいさつ

県副知事、県議会議長、前橋市副市長をはじめとする来賓の方々に参加いただきました。

今回も超速戦士G-FIVEが見守ってくれ、ゆるキャラも応援にかけつけてくれました。



サバイバーズウォーク

いよいよ24時間のスタートです！会場中の祝福の拍手に送り出され、サバイバーズウォークが始まりました。



開会式ステージ演奏

周回開始を素晴らしい演奏で盛り上げてくれた群馬大学フローオーケストラの皆さん。

「上を向いて歩こう」をはじめ、清々しいオケの音色に雲も吹き飛んでいったようです。



錦野太鼓の皆さん

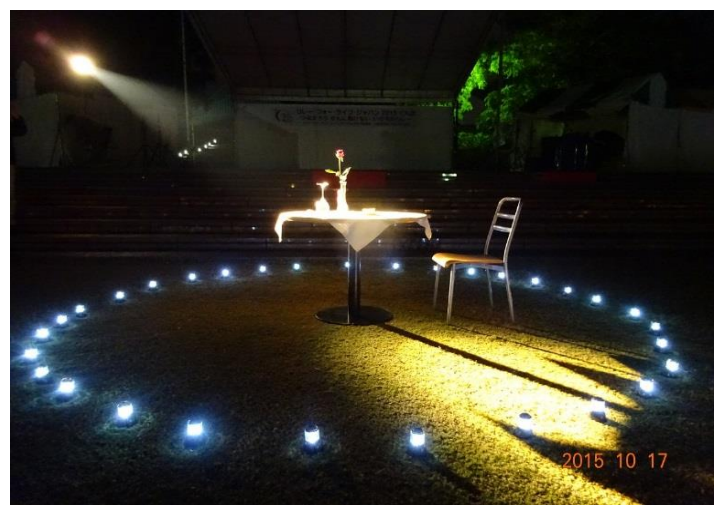
力強い演奏に歩き続ける疲れも忘れ、元気が出てきました。2日を通して、チアリーディング、ダンス、オカリナ演奏、合唱、ヒーローショー、ハワイアン、運動指導、エレキバンド演奏、八木節などたくさんの方々のご協力で、ステージからウォーキングの応援をしていただきました。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんま



ルミナリエ点灯

灯りがともされたルミナリエひとつひとつに、書いてくれた人の思いや祈りが込められています。



エンプティーテーブル

共に過ごした大切な人を偲びます。詩の朗読と、メゾプラノ独唱により厳かな時間が流れていきました。



たくさんのルミナリエが夜通し歩く人たちを優しく照らしてくれます。



ファイナルラップに向けて

24時間つないでいったリレーウォークも間もなく終盤に。あと一息です。がんばりましょう。



閉会式

24時間歩き続けたチームに完歩賞が送られ、岡庭副実行委員長からメッセージの発信が行われ、終了となりました。皆さんお疲れさまでした。

多くの方々に支えられ、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんまは、無事に終了しました。

患者、家族、医療関係者、行政、支援者・・・皆さんの絆や横のつながりが更に強く、輪が広がってきたことを感じました。

ご協力をいただいた皆様に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

がん征圧共同キャンペーン



「安心して下さい。受けられますよ。」で締めくくられたマンモシスターズの寸劇。



平成27年10月24日（土）、グリーンドーム前橋において上毛新聞社主催の1000人フラが開催され、今年度も当協議会による「がん征圧共同キャンペーン」を実施し、乳がん検診受診促進のためのPR「ピンクリボンタイム」にご協力いただきました。

がん連協のティッシュや、がん検診のリーフレット、マスクを配布し、「ぜひがん検診を受けてください」と呼びかけました。

イベント開催前に、マスコミ等でも乳がん検診について大きく取り上げたため、来場者の関心も高く、足を止めて乳がんモデルに触れる人、「毎年マンモグラフィ検診を受けていますよ」という人、子どもさんと一緒にブースに来てくれたお母さんなど、たくさんの方々と会うことができました。

ピンクリボンタイムは健康づくり財団のマンモシスターズが、マンモグラフィ検診を受ける際のお悩み解消に関する寸劇を披露し、患者会の皆さんにうちわを持って啓発のお手伝いをしていただきました。

お知らせ



【作品募集】作品展を開催します

当協議会の作品展を開催します。

日にちは決定いたしましたが、時間などの詳細は未定です。群馬県が主催する県民大会が平成28年2月4日（木）に行われます。こちらにあわせて開催したいと考えています。皆さんが交流できる場を作る予定です。

日時：平成28年2月3日（水）午後 ～ 2月4日（木）夕方
（展示準備は2月3日 午前中）

場所：前橋市民文化会館 小展示室

※ 群馬県が行う県民大会は2月4日（木）午後、前橋市民文化会館小ホールにて



ぜひ、作品の展示にご協力ください。

絵画・写真・書道・手芸・工芸 など。

また、作品展、県民大会にお越しください。

・・・編集後記・・・

がん征圧全国大会には多くの皆さんにお越しいただきありがとうございました。これほど大きいイベントに携わることは初めてでしたが、何もかもが勉強になりました。

夏バテすることも眠れないこともなく、いろいろなイベントが終了し、気がつけば街はクリスマスとお正月を迎える雰囲気です。

年明けは作品展やミーティングに力を入れたいと思っています。

（担当：荒木 美保）

【事務局】〒371-0005 群馬県前橋市堀之下町16-1